

令和 8 年度 第 1 回兵庫県スポーツ推進審議会

と き：令和 8 年 9 月 15 日（火）14：00～15：30
ところ：学校厚生会館 2 階大会議室



1 開会あいさつ

2 委員紹介他

兵庫県スポーツ推進審議会委員、P1 座席図、P25 審議会規則

3 令和 7 年度第 3 回兵庫県スポーツ推進審議会議事録の報告

P2 令和 7 年度第 3 回議事録報告

4 報告事項

(1) 第 2 期兵庫県スポーツ推進計画令和 8 年度実施計画に基づく主要事業について

P9 報告事項(1)

(2) 令和 8 年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

P21 報告事項(2)

5 審議事項

政策目標 5 「スポーツで地域ににぎわいを生み出す」について

P24 審議事項

6 その他

7 閉会あいさつ

兵庫県スポーツ推進審議会委員

(任期：令和7年9月11日～令和9年9月10日)

	氏名	所属・役職等	分野	出欠	備考
1	あそ う けいすけ 麻生 慶輔	生命保険会社 営業部 部長	スポーツ関係企業	○	
2	いとう かつひろ 伊藤 克広	兵庫県立大学 教授	スポーツ社会学	○	
3	うつのみや えり 宇都宮 絵莉	元陸上選手 2023 ブダペスト世界陸上出場	元アスリート	欠	
4	かや みつはる 賀屋 光晴	兵庫医科大学 教授	ジュニア育成・発掘	○	
5	こばやし よしこ 小林 芳子	公益財団法人日本スケート連盟	スポーツ団体	○	
6	ちふ ゆうき 千布 勇気	楽天ヴィッセル神戸株式会社 代表取締役社長	プロスポーツクラブ	○	オンライン
7	ちょうがはら まこと 長ヶ原 誠	神戸大学大学院 教授	スポーツ科学	○	
8	なかやま てつお 中山 哲郎	日本スポーツツーリズム推進機構 シニアアドバイザー	スポーツツーリズム	○	
9	にしいえ みちよ 西家 道代	シッティングバレーボール日本代表 ロンドン・東京パラリンピック出場	パラアスリート	○	オンライン
10	のむら つとむ 野村 努	(一社) NextBaseballTeams 代表理事	公募委員	○	
11	まえだ なおゆき 前田 直之	(株)日本総研リサーチ・コンサルティング 部門 都市地域イノベーションユニ ット ユニット長/プリンシパル	スポーツ関係企業	○	
12	まつした たけひこ 松下 雄彦	明和病院 整形外科主任部長	医科学	○	オンライン
13	まつもと だいすけ 松本 大輔	株式会社神戸新聞社 運動部長	報道	○	
14	みずぐち えいじ 水口 栄二	元プロ野球選手 元阪神タイガース・オリックス 一軍打撃コーチ	元アスリート	欠	
15	みずた ゆ み 水田 由美	明石市教育委員会 部活動指導員	公募委員	○	

令和8年度第1回スポーツ推進審議会 座席図

学校厚生会館 2階大会議室

		長ヶ原 誠 会長 神戸大学大学院教授			
麻生 慶輔 委員 生命保険会社 営業部 部長					
伊藤 克広 委員 兵庫県立大学 教授				野村 努 委員 (一社) NextBaseballTeams 代表理事	
賀屋 光晴 委員 兵庫医科大学 教授				前田 直之 委員 (株) 日本総研リサーチ・コンサルティング部門 都市地域 イノベーションユニット ユニット長/プリンシパル	
小林 芳子 委員 公益財団法人日本スケート連盟				松本 大輔 委員 株式会社神戸新聞社 運動部長	
中山 哲郎 委員 日本スポーツツーリズム推進機構 シニアアドバイザー				水田 由美 委員 明石市教育委員会 部活動指導員	
				※オンライン参加 千布 勇氣 委員 西家 道代 委員 松下 雄彦 委員	

○	○	○	○
スポーツ振興課 マラソン 担当官	スポーツ振興課 WMG 推進室長	ユニバーサル推進 課長	県民生活 部文化 スポーツ 局長

○	○	○	○
県民生活 部長	スポーツ 振興課長	スポーツ 振興課 調整官	県スポー ツ協会 事務局長

	○	○
	事務局	事務局

○	○	○	○
体育保健 課長	スポーツ 振興課 副課長	スポーツ 振興課 班長	

傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席
-----	-----	-----	-----	-----

--	--	--	--	--

報道 関係者席	報道 関係者席	報道 関係者席	報道 関係者席
------------	------------	------------	------------

随行席	随行席	随行席	随行席
-----	-----	-----	-----

令和7年度第3回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期 日 ・ 場 所 令和8年3月19日(木) 14:00～16:00
兵庫県学校厚生会館 2階大会議室
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-7-34
- 2 出 席 者
(委員12名) 麻生委員 賀屋委員 小林委員 長ヶ原委員 中山委員
西村委員 野村委員 前田委員 松下委員 松本委員
水口委員 水田委員

(行政関係者) 田中部長(県民生活部)
小倉局長(県民生活部文化スポーツ局)
高橋課長(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
岩切課長(福祉部ユニバーサル推進課)
西村スポーツ推進調整官(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
森鼻副課長(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
杉本事務局長(公益財団法人兵庫県スポーツ協会)
新谷マラソン担当官(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
近澤ワールドマスタースゲームズ推進官(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
宮本競技・生涯スポーツ班長(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
清澤主任スポーツ振興専門員(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
久保田スポーツ振興専門員(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
沼田スポーツ振興専門員(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
小林主任(県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課)
- 3 開 会 あ い さ つ 田中部長
- 4 署名委員の指名 前田委員、水田委員に決定
- 5 第2期兵庫県スポーツ推進計画一部改正について
スポーツ振興課長より、第2回審議会後の各種手続き並びに、改正計画を4月に施行する旨について説明した。
- 6 令和7年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告
スポーツ振興課副課長より説明し、承認を受けた。
- 7 審 議 事 項
 - (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画令和8年度実施計画について
令和7年度の総括指標・関連指標の達成状況及び令和8年度各指標に関連する事業について、スポーツ振興課長が説明を行い、承認を受けた。
 - (2) 令和8年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
スポーツ振興課副課長が説明を行い、承認を受けた。
- 8 報告事項
 - (1) 令和8年度主要事業について
 - ① スポーツ振興課に関する主要事業について、スポーツ振興課長が説明した。
※神戸マラソンについてはスポーツ振興課マラソン担当官が、ワールドマスタースゲームズについては、スポーツ振興課ワールドマスタースゲームズ推進官が説明
 - ② ユニバーサル推進課に関する主要事業について、ユニバーサル推進課長が説明した。
- 9 閉 会 あ い さ つ 小倉局長
- 10 閉会

■ 委員の主な意見及び行政関係者の説明

審議事項 (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画令和8年度実施計画について

【賀屋委員】

- 総括と関連指標を見る限り、全体としては概ね目標を達成していると考えている。ただ、政策目標1の「女子小中学生のスポーツ実施率」は目標値を上回る一方で男子より低く、この点は課題として残っている。成人では男性の実施率が低い傾向があり、継続して注視が必要だ。また、障害者スポーツや HYOGO STAR PROJECT は、より多くの人に認知されるよう広報を強化する必要がある。ひょうご五国スポーツキャラバンは、地域によって参加が集まりにくい場合があり、事前広報や参加しやすい環境づくりが重要だ。来年度は、多様なメディアを活用して広報の幅と到達度を高め、事業参加を促し、指標の達成度向上につなげてもらいたい。

【長ヶ原会長】

- 兵庫県として、来年度の計画を含めPR、広報の面で、具体的な実績はあるのか。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 来年度実施予定の「プレミアムサマー」では、夏休みの子ども向けスポーツ体験を拡充する。ただ、県内では市町や民間団体が多様なイベントを実施しているものの、子どもや保護者に十分情報が届いていない点が課題だ。このため、県として情報を一元的に入手できる仕組みの整備を検討している。具体的な方法は調整中だが、スポーツ分野では必要な人に確実に情報を届けることが重要であり、紙媒体に加えて SNS やオンライン媒体、マスメディアなどを活用した効果的な広報手法を模索していきたいと考えている。

【麻生委員】

- 兵庫県スポーツ推進計画では、プロスポーツクラブとの協働や発育段階に応じたスポーツ環境整備、合理的で効果的な運動部活動の推進が求められている。こうした背景から、ユーハイム主催のスポーツ振興財団の大会に参加し、部活動の地域展開について意見交換を行った。神戸市では今年9月から中学校の部活動が完全に終了し、すべて KOBE KATSU に移行する方針で、クラブ設立や指導者確保が進んでいる。丹波篠山市でも、平日は学校、休日は地域クラブで活動する体制が整い、中体連指定競技の受け皿も一定程度確保されている。一方で、地域展開後の子どもがどの目標に向かってスポーツに取り組むのか、特に中体連大会が維持されるのかについては、関係者間の情報共有が不十分で、全国的にも従来の大会運営が継続されるかは不透明な状況だ。また、令和8年度実施計画の「県立学校部活動指導員配置事業」については、地域展開を踏まえ、事業の位置づけや記載場所を見直す必要があると感じている。

【長ヶ原会長】

- 兵庫県では、来年度から本格的に部活動の地域展開が始まる。その辺りをご説明いただけないか。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 中学校の部活動の地域展開については、兵庫県教育委員会が全体を取りまとめ、スポーツ部局は地域展開後の体制づくりを側面から支えている。ただ、平日・休日の通常の部活動対応だけでも課題が多く、その先の大会運営についてはまだ具体像が見えていない。現状では、学校での部活動をどう維持・改善するかに力が注がれている印象だ。また、県立学校への部活動指導員配置も教育委員会が中心となって進めており、中学校と同様に、経験のない種目を教員が担当せざるを得ない状況を踏まえ、教員の負担軽減を図る事業として位置づけられている。

【麻生委員】

- 中体連の今後の在り方は、現時点では方針が確定していないということになるのか。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 地域展開が本格実施される中で状況を確認しながら運用されていくとは思いますが、その先、10年後や20年後まで中体連の仕組みをどう維持するのかについては、現時点で明確な方針は示されていない。

【水田委員】

- 令和9年度に近畿で全中が開催され、それまでは中体連が大会運営を担うことは確実と聞いている。一方で、水泳をはじめとする9競技は、令和9年度以降は中体連主催で実施しないと正式に決

まっており、開催が続く競技との対応が分かれることになる。スポーツ庁は部活動を教育の一環として残しつつ地域展開を進めているため、自分はクラブチームで受け皿づくりを進めているが、制度面はまだ不安定で先が見通しにくい状況だ。

【長ヶ原会長】

- 兵庫県では来年度に16市町で部活動の完全移行が進むと聞いている。中体連では、地域クラブや合同チームが大会に参加できるかが大きな論点だが、3年前の兵庫県スポーツ推進審議会で県中体連会長が「緩和を進めている」と述べていたが、その内容がまだ詰まっていないのではないかと感じている。また、生涯スポーツと地域クラブへの移行は密接に関連しているが、その視点が政策に十分反映されていない面もある。ただ、この部分については、スポーツ振興課が県教育委員会と連携しながら総合的に対応を進めていると理解している。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 兵庫県教育委員会を中心に部活動の地域展開が進んでいるものの、指導者不足などの課題が残っている。スポーツ振興課としては、学校の枠を越えて地域スポーツを発展させ、中学生だけでなく小学生から高校卒業後まで継続してスポーツに取り組める環境づくりが重要だと考えている。また、県立高校の教員や教育委員会との関わりも踏まえ、今後も連携を深めながら地域でのスポーツ活動の充実に取り組んでいきたい。

【小林委員】

- 地域展開には指導者不足といった課題もあるが、地域だからこそ専門的な指導を受けられたり、これまで触れてこなかったスポーツに出会えたりする大きな可能性もある。こうした前向きな環境づくりが進めば、子どもたちが新たな競技に関心を持ち、目標を見いだして取り組む流れにつながるのではないかと感じている。競技団体としても、その点に期待している。

【長ヶ原会長】

- これは大きなメリットであり、子どもたちが質の高い指導やサービスを受けられる点は特に重要だ。本日不在の伊藤委員もこの点を評価し、保護者や子どもにとって大きな価値があるとの意見を述べていた。こうしたメリットは、今後もしっかり生かしていく必要がある。

【小林委員】

- 学校でのスポーツは閉鎖的になりがちだが、地域での活動が広がれば、ご家族の関心や理解も深まるのではないかと考えている。こうした広がりが、家庭と地域を巻き込んだスポーツ文化の形成にもつながると考えている。

【中山委員】

- 新たに設定された政策目標5では、実施計画に「ひょうごスポーツコミッションの創設」が掲げられているが、具体的な設立時期や体制について確認したい。また、主要事業一覧には予算が計上されていない項目も多く、その点との整合をどのように考えているのか。

【行政関係者（西村スポーツ推進調整官）】

- スポーツコミッションは4月1日設立予定であり、名称は「ひょうごスポーツコミッション」である。組織は、市町村会・市長会、商工会議所連合会、観光本部、スポーツ関連団体など、全体を束ねる団体を中心に構成し、迅速に意思決定できる機動的な体制を目指している。予算については、税金に依存せず、志を持つ団体・企業との連携による事業展開を重視しているため、本体予算は限定的である。一方、プレミアムスポーツサマーには約600万円を特定財源（ふるさと納税・寄付等）で計上しており、今後もこうした財源を活用して事業を進めていく方針である。

【中山委員】

- 事務局の体制はどうなるのか。

【行政関係者（西村スポーツ推進調整官）】

- スポーツコミッションは、まず法人格ではなく任意団体として実行委員会方式でスポーツ振興課内に設置する予定である。現在、構成団体による設立総会を開催する方向で準備を進めている。体制は、会長を県民生活部長、事務局長を文化スポーツ局長とする案で調整している。

【中山委員】

- 状況によっては、この事業が実施されない可能性もあるのか。

【行政関係者（西村スポーツ推進調整官）】

- なくなることはないと考えている。ただし、事業規模は確保できる財源に左右されるため、規模が変動する可能性がある。また、コミッションとして活動することで参加費などの収入も得やすくなるため、こうした財源も活用しながら事業を進めていく考えである。

【中山委員】

- スポーツ庁にもスポーツコミッションの助成金制度があり、公募開始の案内があった。新しい事務局体制が整い次第、こちらも相談に応じながら進めていく考えである。

【西村委員】

- 実施計画の施策目標 14 の 5「プロスポーツクラブ・トップアスリート等と連携した指導者派遣プロジェクト」について、指導者向け研修の充実は、こちらが最も力を発揮できる分野だと感じている。役割を整理してもらえれば、県全体の取組として積極的に協力したい。現在、要望が多いのは 2「マルチスポーツ教室」だが、選手派遣は契約上の制約もあり、対応が難しい場合がある。そのため、5の方がより貢献できると考えている。最後に、県内体育館の冷房設備の整備状況を知りたい。

【行政関係者（森鼻スポーツ振興課副課長）】

- 社会教育施設を除くと、県内の体育館の冷房整備率はおよそ 8 割程度と認識している。一方、県立高校を含む県立学校は約 4 割にとどまり、整備が遅れている状況にある。市町立の小中学校はほぼ 100%に近い整備が進んでいるが、県立学校は約 200 校を一斉に整備する必要があり、規模と予算の負担が大きいため、市町立より整備が進みにくい構造になっている。

【西村委員】

- 一つは単純な興味だが、もう一つはマルチスポーツ教室を実施する際、可能なら冷暖房のある施設を使いたいと考えている。さらに、来年度から B リーグがプレミアリーグとなり平日ゲームが増えるため、相手チームの前日練習場所の確保が必要になる。冷暖房完備が必須だが、GLION ARENA が使えない日もあり、代替施設の確保に苦労している。学校施設を使えると助かり、高校生が練習を見学できれば良い刺激にもなる。また、KOBE KATSU の件では、資金調達や集客などのマネジメントは競技に共通するため、エリアごとに専門人材をまとめて配置する仕組みがあれば、指導者の負担軽減につながると考えている。こうした仕組みづくりを県が主導してくれるとありがたい。

【長ヶ原会長】

- 兵庫県は 10 のスポーツ団体と連携協定を結んでいるが、神戸ストークスは特に地域連携に力を入れ、キャラバン活動も活発だと感じている。一方で、阪神間の子どもたちに取り組みが集中しやすく、地域格差が生まれやすい点は課題だと思っている。ただ、神戸ストークスはチーム名の由来であるコウノトリに関連する但馬地域にも足を運び、地域の子どものにも貢献しており、こうした活動は今後の地域連携のモデルになり得ると考えている。

【野村委員】

- 西宮には従来クラブがなかったため、学校部活動と並行しながら徐々に認知が広がってきた。9 月にはプレミアクラブが立ち上がる予定だが、先生たちは運営方法や会費徴収などの知見が乏しく、戸惑いが見られる。本来は学校の先生と地域指導者が協働する形が理想だが、実際には先生のみで議論が進み、新しいモデルが作りにくい状況にある。一方で、私が関わる一般社団法人では KOBE KATSU でチームを立ち上げ、先生と地域コーチが協力して運営する体制を築いており、モデルになり得ると感じている。こうした状況から、実施計画の施策目標 2「中学校部活指導員配置事業」は移行期にあり、今後は名称や仕組みの見直しが必要だと考えている。また、同目標の「ローカル 5G 等 ICT 活用支援事業」では、AI を活用した指導高度化の具体像を知りたい。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- この事業は県のデジタル戦略課が所管している。三木市の総合防災公園にはローカル 5G が試験導入され、ブルボンビーンズドームや大型スタジアムなど多様なスポーツ施設が整備されている。テニスでは選手のスイング動作を遠隔地のコーチが確認する実証が進み、陸上競技場では AI カメラによる試合映像の配信にも取り組んでいる。こうしたローカル 5G 環境を活用し、企業が現地で実証や事業展開を行っていると考えている。

【野村委員】

- ローカル 5G は整備費が高く、利用エリアも限られていると思っている。自分が想像していたの

は、映像解析ではなく、言語情報をAIが学習して指導に生かすような仕組みだが、今回の取り組みはそうしたものではないという理解でよいのか。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- どちらかというと画像分析のイメージと聞いている。

【長ヶ原会長】

- 他県等では、AIを利用して戦略分析も進んでいるのではないかな。

【中山委員】

- 秋田県大館のニプロハチ公ドームでは、人工芝の野球施設で合宿や大会、離れた場所にいる保護者がリアルタイムや録画で映像を確認できる段階まで進んでいるが、指導にはまだ活用されていない。また、AIカメラの映像をホームページで公開したことで、施設の雰囲気が伝わりやすくなり、海外の企業チームから利用の問い合わせが来るなど、スポーツツーリズムとしての誘客効果も生まれていると感じている。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- スタジアムではAIカメラの試合映像がネット公開され、高校生大会でも対戦相手に分析される可能性があり、公開範囲に悩むケースがあると聞いている。技術は日々進化しており、遠隔から観戦できることで距離の制約が縮まり、選手のコンディション把握などへの応用も期待できる。今後も技術動向を注視しつつ、活用できるものは積極的に取り入れたいと考えている。

【長ヶ原会長】

- 近畿・関西では、大学がスポーツ分野の研究を進めており、AIを活用した戦術分析などの取り組みも広がっている。こうした動きは、ひょうごスポーツコミッションとの連携にもつながり、地域スポーツの活性化にも寄与すると感じている。

【前田委員】

- 今回の資料は目標が数値で明確に示され、進捗が把握しやすく有用だと感じた。気になったのは、政策目標2「生涯スポーツの推進」にある成人男性のスポーツ実施率の向上である。6割という高い目標を達成するには、働く世代が多いことを踏まえ、企業への働きかけが重要だと思う。県内企業に健康経営の一環として運動機会の提供やスポーツイベントの実施を促すことは有効な手だと考えている。また、政策目標5ではスポーツGDPや観光消費額を指標に掲げており、目指す姿が分かりやすい。今後スポーツコミッションを立ち上げるにあたり、誰を巻き込み、どの働きかけが指標改善につながるかを意識した事業展開が重要だと思う。指標自体が目的ではないが、達成を意識することが他の政策目標にも良い効果をもたらすと考えている。以上、提案である。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 企業へのアプローチとしては、健康経営への関心の高まりを踏まえ、商工会議所などと連携して取り組みを進めたいと考えている。兵庫県には魅力あるプロスポーツクラブや多くのアスリートがいて、観戦需要や交流人口の増加による経済効果をさらに高める余地がある。また、ゴルフや自然を活かしたスポーツなどツーリズムの強みもあり、こうした資源を生かしてスポーツツーリズムを推進し、県内スポーツGDPやスポーツ・レクリエーション目的の観光消費拡大につなげたいと考えている。

【長ヶ原会長】

- 全国の状況を見ると、成人の週1回以上のスポーツ実施率は、兵庫県は今年度で男性61.5%、女性69.0%と全国平均（男性55%、女性49%）を大きく上回っている。特に女性の参加率は全国トップクラスで、高齢女性を中心にピラティスやホットヨガなどのフィットネス系やテニスの人気が高い。こうした背景から、兵庫の女性スポーツ振興は全国的にも先進的で、「ひょうご女性スポーツの会」では小林委員を中心に、田中部長、小倉局長、松本委員、水田委員らが女性スポーツの発展を支えている。今後もこの流れを広げていきたいと考えている。

【麻生委員】

- 健康経営では、健康増進課が進める「健康づくりチャレンジ企業」に約2,400社が登録しており、毎年「チャレンジ企業アワード」で表彰も行われている。既存の取り組みと連携することで、健康経営の推進はさらに効果的になると考えている。

【松下委員】

- スポーツイベントでは近年、熱中症対策が重要になり、サッカー協会もガイドラインを示している。運営にあたっては一次救命ができる人材の配置や救命体制の事前準備が欠かせない。一般向けの救命講習会もあるため、県として普及を進めれば安全性向上につながると考えている。また、スポーツ振興では都市部だけでなく、日本海側など人口の少ない地域との連携や情報発信も重要で、事業の周知や参加を促す工夫が求められると感じている。

【行政関係者（杉本事務局長）】

- 熱中症については、スポーツ庁などが通知を出しており、県からも競技団体へ周知しているため、中央と県の双方で注意喚起が行われている状況だ。救命講習会が通知に含まれているかは確認できないが、各競技団体が独自に取り組んでいる例はあると認識している。

【長ヶ原会長】

- 医科学との連携は政策目標3の指標にも含まれており、現在は約60の競技団体に達成していると記憶している。冬季競技は医科学との連携が進みにくい面があるが、夏季・冬季の双方で連携が広がれば、より強い結びつきが生まれると考えている。

【水口委員】

- クラブチーム移行の話とも関連するが、9月から阪神タイガースと連携し、西宮市で選手の受け皿となる3チームを立ち上げる予定だ。課題は指導者の確保で、話を聞く中で「60歳以上でも十分指導できる」という声が多く、自分自身も57歳でまだ活動できると感じている。これは政策目標2の「生涯スポーツの推進」とも重なる考え方で、定年後も活躍できる人材を生かし、県全体で指導者を確保できる仕組みが整えば、より質の高いスポーツ環境の実現につながると考えている。

【長ヶ原会長】

- 水口委員は阪神タイガースなどで指導者として活躍し、兵庫県にも派遣指導で貢献している。現在は約30名のコーチのもと、1000人以上の子どもが参加していると聞いている。こうした取り組みは県にとって有意義で、女子野球も含め、今後さらに指導者が増えることを期待している。

【水田委員】

- 私は明石市で「女子剣道交流稽古会」を立ち上げ、小学生から60歳以上まで参加できる形で3回開催し、県内各地から40名以上が集まるなど好評を得ている。明石市剣道連盟からも来年度の継続と小中学校への普及を期待されている。60歳以上の参加者も多く、生涯スポーツや地域スポーツの推進にもつながる取り組みだと感じている。部活動指導にも7年間携わり、今後はコーチ1やアシスタントマネージャーの資格取得を目指しているが、講習や資格取得には実費負担が大きい。こうした負担への支援があれば、指導者育成はさらに進むと考えている。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 部活動の地域展開には関心が高く、私たちも県教育委員会と連携し、地域での受け皿づくりや指導者確保、新たな仕組みの検討を進めたいと考えている。競技団体のマネジメントや運営を県としてどう支えるかも課題だ。ひょうご女性スポーツの会からは、高齢化に伴う事務負担の増加も指摘されている。スポーツ現場では審判や指導者、引率など裏方の支えも重要で、これをどう維持するかが大きなテーマになる。今後、地域展開が進む中で、地域がどこまで受け皿になれるか、必要な支援は何かを精査し、スポーツ部局としてできることを引き続き模索していきたいと考えている。

【長ヶ原会長】

- 政策目標5の総括指標である県内スポーツGDPの増加について、10年間で22%増という見込みは、年間1～2%程度の控えめな伸びだと感じている。令和9年度にはワールドマスターズゲームズが開催されるが、この効果が試算に含まれているのか気になっている。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 国の目標数値を兵庫県にスライドした形で示しているため、関西で大会が開催されても、兵庫県だけが伸びる前提での試算にはしていない。

【長ヶ原会長】

- スポーツサテライト勘定ではスポーツツーリズムも対象となり、過去のワールドマスターズゲームズでは開催年に10～15%、登録開始年にも約5%のスポーツGDP上昇が見られると言われている。

今回も同様の効果が期待され、本来は試算に上乗せを反映することが望ましいと考えている。大会の経済効果を正確に見込むには組織委員会との連携が重要で、ワールドマスターズゲームズは生涯スポーツ振興と外部資金の確保につながり、県内に大きなにぎわいを生む機会になる。約1万人の選手と1万5千人の同伴者が見込まれ、付加価値も高い大会であるため、県内スポーツ GDP はより高い見込みも検討すべきだと考えている。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 今回が初めての指標設定だったため、十分に細かい部分まで詰めきれていないところもあったと思う。今後の示し方については、すぐに対応するのか、1年間の中間状況を踏まえて検討するのかを見極めながら、実績を追って改めて報告していきたい。

審議事項（2） 令和8年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

【水田委員】

- JSP0 公認指導者資格の取得には受講料と登録料で約4万円かかるが、明石市剣道連盟を通じて兵庫県の補助事業があると聞き、私も申し込んだ。中学生の地域展開が進む中、補助があることで他競技も含め資格取得を考える人が増えるはずだと感じている。意義のある事業だと思っている。

報告事項 令和8年度の主要事業について

【中山委員】

- 神戸マラソンの財源にある「一部ふるさとひょうご寄付金」が、どれくらいの額なのか知りたい。

【行政関係者（新谷マラソン担当官）】

- 神戸マラソンは応募者が多く通常は抽選だが、ふるさとひょうご寄付金として10万円を寄付した人には特別枠として無抽選で出走権を与えている。この枠は200人分で、10万円×200人の計2,000万円規模になる。

【中山委員】

- 政策目標1の子どもユーススポーツ推進事業は、財源の多くをふるさとひょうご寄付金で賄っているが、この財源だけで本当に対応できるのか気になっている。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 子どもユーススポーツの推進では、プロスポーツクラブとの連携事業の財源を個人版・企業版のふるさと納税で全額賄っている。プロスポーツクラブを応援したいという趣旨で集まった寄付金を積み上げ、事業費としてそのまま充当している。また、その他の事業も個別スポンサーへの協力依頼や、「スポーツに使ってほしい」という個人版ふるさと納税の寄付を活用して事業予算を組んでいる。

【小林委員】

- フィギュア強化選手の練習拠点である泉佐野市の関空アイスアリーナでは、宿泊費の値上がりで選手の負担が増えている。そこで昨年、泉佐野市のふるさと納税を活用し、寄付者が選手と同じホテルに宿泊し、観覧や交流ができる特典（5万円・10万円）を設けたところ、多くの寄付が集まった。寄付を通じて選手との交流機会を提供しつつ、その資金が選手の活動費にもつながる取り組みとして、昨年の実施内容を紹介する。

【署名委員】

前田 直之

水田 由美

スポーツ振興課

Ⅰ 子どもユーススポーツの推進

1 プレミアムスポーツサマー（スポーツ振興課）

6,000千円

【ふるさとひょうご寄附金】

誰もが多様なスポーツに触れられる体験機会を提供するため、県内各地で実施されるスポーツ体験イベントの情報を集約し、特設WEBサイトで情報発信するとともに、将来的には地域に定着させることを目指す。

(1) 県内各地のスポーツ体験イベントの情報発信

県内で実施される多様なスポーツ体験イベントの情報を集約し、特設WEBサイトで情報発信して認知度向上と参加促進を図る。

(2) マルチスポーツ体験イベントの実施

県内の小学生を対象に、複数競技を一度に体験できるイベントを開催

ア 7月30日(木) ※サッカー、バスケットボール、野球

豊岡市立総合体育館（参加者数 92名）

イ 8月7日(金) ※バレー、ラグビー、フットサル、なわとび、水泳

県立文化体育館（参加者数 136名）

ウ 8月18日(火) ※アメリカンフットボール、合気道、体操、eスポーツ

県立武道館（参加者数 79名）



2 乳幼児の運動習慣づくり推進事業（スポーツ振興課）

272千円

第2期兵庫県スポーツ推進計画に基づき、運動・スポーツが好きな子どもの増加を図るため、乳幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組む。

(1) 運動遊び教室の開催

① 7月11日(土) （参加者数106名）

認定こども園 立花愛の園幼稚園

② 11月21日(土)

認定こども園 真愛幼稚園

内 容：乳幼児期に見られやすい発達上の課題に配慮し、克服・改善につながる運動遊びプログラムを実施

(2) スポーツ体験イベントの開催

内 容：乳幼児及び保護者を対象に運動・スポーツが好きになるきっかけを作るスポーツ体験を実施



3 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト（スポーツ振興課） 2,500千円

【ふるさとひょうご寄附金】

ふるさと納税の活用により、子どもを対象としたスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を充実する。

【実施内容（例）】

- ・SPORTS NEW WAVE in TOTTEI PARK

神戸港のTOTTEI PARKで、野球、サッカー、ラグビー、バスケットボール等の体験イベントを開催（R7.9）



4 プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト（スポーツ振興課） 48,000千円

【ふるさとひょうご寄附金】

プロスポーツクラブ等との連携により、プロスポーツの試合観戦招待やスポーツ教室を開催するなど、地域活性化事業を展開する。

【実施内容（例）】

- ・子どものプロスポーツ試合観戦招待（予定）

開催日 10月24日（土）

15：00 VS FC町田ゼルビア

場 所 ノエビアスタジアム神戸

- ・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催
- ・スポーツ関連イベントの開催



II 生涯スポーツの推進

1 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課） 2,633千円

【勤労者福祉基金】

「スポーツクラブ21 ひょうご」（以下SC21）について、スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等と自主自立に向けた取組を支援し、「スポーツ立県ひょうご」の実現に取り組む。

(1) 全県スポーツサミットの開催

開催日 10月3日（土）

場 所 兵庫津ミュージアム

対 象 SC21 代表者、市町体育・スポーツ協会代表者、市町行政代表者、地域スポーツ関係者 等

内 容 講演・グループディスカッション

(2) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

SC21 が各地域で、だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを創出（全7地区で実施）

神戸地区	未定
阪神地区	未定
播磨東地区	うみえーるあおぞらオータムフェス スポーツクラブ21ひょうご播磨東地区交流フェスティバル
中・西播磨地区	未定
但馬地区	ふれあいグラウンド・ゴルフ交流大会
丹波地区	S C 2 1 スポーツパーク！2026 桶ッ卓球交流大会
淡路地区	未定

2 地域スポーツ活性化支援事業（スポーツ振興課）

1,000千円

県民全体のスポーツ実施率向上を図るため、市町単位でコンソーシアムの設置を促進し、スポーツイベント開催に要する経費を支援する。

（1）補助対象 市町で設置されたコンソーシアム

コンソーシアム = 市町内の行政を含む、スポーツ団体、大学、民間事業者など複数の団体から成る共同事業体

（2）補助金額 100 千円

（3）補助率 経費の1/2 ※県：市町＝1：1

実施市町 福崎町

開催日 5月31日（日）

内 容 小学生及びこども園児向けサッカー教室

参加人数 幼児園児8人、小学生29人



3 ひょうご女性スポーツの会の活動支援（スポーツ振興課）

4,000 千円

女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。（加盟団体数：18団体）

（1）総会・総合開会式 講演及び競技別大会総合開会式の開催

日 時 6月20日（土）

場 所 神戸新聞松方ホール

（2）競技別大会 各競技団体による冠称大会の開催

（3）女性スポーツ参画促進イベントの開催

（4）京都女性スポーツの会との交流

（5）女性指導者育成のための研修会への参加



4 県立体育施設の管理運営(スポーツ振興課)

456,173千円

県民の健康で文化的な生活を支える基盤として、県下6つの体育施設を運営

■県立体育施設

- (1) Life partner Arena(県立総合体育館)〔西宮市〕
- (2) 県立海洋体育館〔芦屋市〕
- (3) 県立文化体育館〔神戸市長田区〕
- (4) 県立神戸西テニスコート〔神戸市西区〕
- (5) 県立弓道場〔明石市〕
- (6) 県立武道館〔姫路市〕



5 神戸マラソン2026の開催(スポーツ振興課)

88,883千円

【一部ふるさとひょうご寄附金】

県民のスポーツ振興を図るとともに阪神・淡路大震災の復興支援への感謝や兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、「神戸マラソン2026」を開催する。

- (1) 開催日 11月15日(日)
(11月13日(金)・14日(土)ランナー受付及びマラソンEXPO)
- (2) コース スタート(神戸市役所前)～折り返し(明石市大蔵海岸付近)～
フィニッシュ(神戸ハーバーランド・神戸ガス燈通り)
- (3) テーマ 「感謝と友情」
- (4) 出走者 約2万人



6 ワールドマスタースゲームズ開催準備(スポーツ振興課)

67,619千円

令和9年5月に開催されるワールドマスタースゲームズ2027関西について、兵庫県開催競技の準備を本格化させるとともに、参加促進や機運醸成に取り組む。

- (1) 各競技大会の運営準備
大会運営に必要なボランティアの確保や、大会運営ノウハウ習得のためのリハーサル大会を実施する競技団体への支援等を実施
- (2) 大会参加促進・機運醸成
大会開催1年前イベント、競技開催市町でのPRイベント、大会機運醸成のための啓発資料の作成等を実施

■「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の概要

- (1) 主催 (公財) ワールドマスタースゲームズ2021 関西組織委員会等
- (2) 共催 (公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本パラスポーツ協会

- (3) 開催時期 令和 9 年 5 月 14 日（金）～30 日（日）
- (4) 開催場所 兵庫県を含む関西地域
- (5) 開催競技 公式35競技59種目（うち兵庫県開催予定：10競技12種目）
- (6) 参 加 者 目標 5 万人（国内 3 万人、国外 2 万人）（概ね30歳以上）

7 関西マスターズゲームズ in HYOGO 開催事業（スポーツ振興課） 4,361千円

ワールドマスターズゲームズ2027関西に向けて「する」スポーツの機運を一層醸成し、すそ野を広げるため、関西マスターズゲームズを開催する。

(1) 総合開会式の実施

開催日 4月25日（土）

場 所 ラッセホール（神戸市中央区）

(2) 競技別大会「関西マスターズゲームズ2026 in HYOGO」の開催（予定）

時 期 令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月

場 所 県内各市町

大 会 計51大会

(3) 県民ふれあい大会体験会の開催（予定）

開催日 11月23日（月・祝）

場 所 しあわせの村（神戸市北区）

種 目 調整中



Ⅲ 競技スポーツの推進

1 競技スポーツ振興事業（スポーツ振興課） 194,906千円

【一部スポーツ振興くじ収益金】

競技団体との連携のもと、国スポ選手等の強化や、次世代を担うジュニアアスリートの育成、子どもの運動・スポーツ機会創出等に取り組み、トップアスリート層の拡大を目指す。また、これらの活動を支援する指導者の養成にも取り組む。

2 スポーツ大会招致事業（スポーツ振興課） 7,000千円

【はばタンスポーツ基金】

質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。

(1) 助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協会加盟競技団体及び上部団体がJSP0、JOC に加盟している県内のスポーツ団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等

(2) 助成額 大会運営費（食料費、人件費、備品購入費等除く）に応じた助成（1大会上限100万円）

(3) その他 同一大会への補助は1回限りとする。新たに招致する大会については、県

内開催定着を目指して、最大３年まで連続申請できる。

今年度の助成対象大会

大会名	期日	補助額（千円）
第 25 回全日本 0-50 サッカー大会	6 月 27 日～29 日	1,000
2026 年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2026 年度全日本学生シングルハンドレガッタ	10 月 9 日～11 日	1,000
第 5 回日本グランプリパワーリフティング 選手権大会	10 月 24 日～25 日	1,000
第 38 回オールジャパンレディスボウリング トーナメント with MEN	12 月 11 日～13 日	1,000
2027 年全日本卓球選手権大会 (ジュニアの部)	令和 9 年 1 月 15 日～17 日	1,000
第 45 回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会	令和 9 年 3 月 19 日～22 日	1,000

V スポーツで地域ににぎわいを生み出す

1 ひょうごスポーツコミッション創設（スポーツ振興課）

スポーツの力を通じて地域に賑わいと誇りを創出し、地域活性化につなげる共創のハブの役割を担う官民連携の組織を創設し、スポーツの裾野拡大・人材育成やキャリア支援・指導者養成、スポーツツーリズムの推進等に取り組む。

(1) プレミアムスポーツサマー

夏休みに子どもたちのスポーツ体験機会を確保するために、スポーツ体験イベントの情報を集約、情報発信するとともに、県内３か所で複数競技の無料体験教室を開催

(2) HYOGO STAR PROJECT

才能ある小中学生を発掘し、基礎能力評価と専門的指導により未来のトップアスリートを育成する取組。競技横断の育成体系を整備し、地域を支えるスポーツ人材の育成

○ 年間プログラム（24 回） プログラム実施日数（26 日）※合宿（2 泊 3 日）

ア 身体能力開発・育成プログラム（21 回）

イ 競技体験プログラム（4～6 回程度）

ウ 知的能力開発・育成プログラム（3 回）

エ 保護者対象に実施する保護者サポートプログラム（3 回）



(3) キャリア形成セミナー

アスリートと企業が交流し、デュアルキャリアの理解促進と受入企業の拡大を図

る取組。競技と仕事を両立できる環境整備による安心して挑戦できるスポーツ基盤の強化

(4) プロスポーツクラブ・トップアスリート等と連携した指導者派遣プロジェクト

トップアスリートや指導者を学校・地域クラブへ派遣し、質の高いスポーツ指導と学びの機会を提供するとともに、トップアスリート等による教職員・地域スポーツ指導者向けの研修の機会として指導者の質を高め、地域のスポーツ環境を充実

ア 阪神タイガースとの連携（２回）

イ 阪神タイガース Women との連携（１回）

ウ 0' deco との連携（enjoy baseball Japan）（１回）

エ 東芝姫路との連携（ソフトテニス）（１回）

オ NOBY T&F CLUB との連携（陸上）（３回程度）



東芝姫路（姫路北高校）

R8.07.11

(5) プロクラブ等と連携した選手等との交流ツアー

プロクラブ等の魅力による県内への誘客促進とプロクラブ等の観客拡大に向け、県内外の小中学生と保護者を対象に実施

ひょうごスポーツコミッションについて

【概要】

名称：ひょうごスポーツコミッション
目的：スポーツの力を通じて兵庫に賑わいと誇りを創出し、地域活性化につなげる「共創のハブ」となる
設立日：2026年4月1日
性格：公民連携による任意団体（法人格なし）
構成団体：県、県スポーツ協会、市長会、町村会、商工会議所連合会、商工会連合会、ひょうご観光本部
役員：スポーツコミッショナー＝兵庫県知事
 会長＝兵庫県県民生活部長
事務局：スポーツ振興課

【主な取組】

- ① スポーツの裾野拡大
- ② 人材育成・キャリア支援
- ③ スポーツツーリズムの推進・大会誘致
- ④ 地域・企業共創・デジタル展開

【HYOGO ATHLETE PARTNERS】

コミッションの趣旨に賛同いただき、ともに事業を進める県ゆかりのアスリートやクラブ等



朝原 宣治 氏



沢松 奈生子 氏



AS/アルビオン



FC BASARA HYOGO



INAC KOBÉ レオネッサ



CHALLENGERS SEKISUI チャレンジャーズ



ASTRAEA アストラア



ヴィクトリーナ姫路



ヴィッセル神戸



KOBÉ STORKS 神戸ストークス



神戸ファストジャイロ



コベルコ神戸スティーラーズ



スターズ神戸



阪神タイガース

01

コミッションの取組（例）

① スポーツの裾野拡大

- ・プレミアムスポーツサマー



マルチスポーツ体験（ヴィッセル神戸・7/30豊岡、コベルコ神戸スティーラーズ・8/7神戸）



■ イベント情報の発信 約150のイベントを掲載

夏休み期間を中心に県内各地で開催されるスポーツ体験イベントをHPで集約し情報発信

■ マルチスポーツ体験イベント 延べ307人が参加

ヴィッセル神戸等の「ひょうごスポーツコミッション」アスリートパートナーズ等と連携し複数スポーツを一度に体験できるイベントを県内3カ所（神戸、姫路、豊岡）で実施

② 人材育成・キャリア支援

- ・兵庫ゆかりのアスリート等指導者派遣事業
- ・HYOGO STAR PROJECT

③ スポーツツーリズムの推進・大会誘致

- ・スポーツ大会・イベントの誘致
- ・プロクラブの選手等との交流ツアー

④ 地域・企業共創、デジタル展開

- ・パートナーズと市町との交流会
- ・企業と連携したイベントの実施



キックオフミーティング（5/25）



三井住友銀行と連携したイベント（8/24）

ワールドマスターズゲームズ2027関西の概要

「ワールドマスターズゲームズ」は概ね30歳以上であれば誰でも参加できる、生涯スポーツの国際総合競技大会であり、World Masters Sportが主宰し4年ごとに開催。来年5月に日本で初めて関西一円を舞台に開催。

- 1 **大会期間** 2027(令和9)年5月14日(金)～30日(日) 17日間
※当初2021(令和3)年5月を予定→コロナ禍により二度の延期
※バレーボール(ビーチ)は5月9日(日)～14日(金)に開催
- 2 **開催場所** 関西一円(13府県政令市)
- 3 **開催競技** 公式競技 35競技59種目(他、オープン競技実施)
- 4 **参加目標** 5万人(国内3万人・国外2万人) ※過去最大規模
- 5 **大会テーマ** スポーツフォーライフの開花
- 6 **参加料** 〔国内〕15,000円(競技者)、5,000円(競技関係者・サポーター)
〔国外〕34,000円(同上)、20,000円(同上)
- 7 **エントリー方法** 大会ホームページより申込
- 8 **エントリー期間** 2026(令和8)年3月2日(月)～2027(令和9)年2月28日(日)
- 9 **主催** (公財)ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
開催府県政令市実行委員会及び市町等実行委員会



03

兵庫県・神戸市実行委員会開催公式競技 (10競技・12種目)

テコンドー

姫路市(兵庫県立武道館)
5月22日(土)～23日(日)

水泳(競泳)

姫路市(大和工業アリーナ姫路)
5月26日(水)～30日(日)

射撃(クレー)

岡山市(岡山県クレー射撃場)
5月18日(火)～23日(日)

バレーボール (ビーチ)

南あわじ市(慶野松原ビーチバレーコート)
5月9日(日)～14日(金)

オリエンテーリング

養父市・神河町・香美町(ハチ高原他)
5月22日(土)～28日(金)

テニス

三木市・加西市(ブルボンビーンズドーム他)
5月16日(日)～27日(木)

水泳(水球)

尼崎市(尼崎スポーツの森)
5月28日(金)～30日(日)

陸上(競歩)

六甲アイランド・5月23日(日)

硬式野球

ほっともつとフィールド神戸他・5月15日(土)～28日(金)

卓球

グリーンアリーナ神戸他・5月15日(土)～21日(金)

バスケットボール

グリーンアリーナ神戸他・5月23日(日)～29日(土)

※青字は神戸市担当競技種目

ワールドマスタースゲームズに向けた兵庫県の取組

<大会準備>

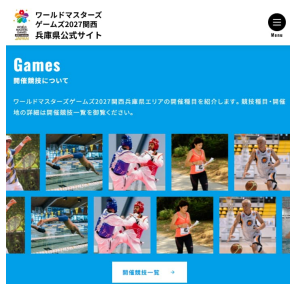
- 県内競技のリハーサル大会を順次開催中
- ボランティア募集開始（9/2～）

＜參加促進・機運釀成＞

- 大会組織委、競技団体等と連携した参加促進・機運醸成の取組
→既に兵庫県内だけで延べ**2万件以上**のエントリー



パンフレット・
ポスター等



兵庫県版HPの開設



県ゆかりのアスリート
応援メッセージ

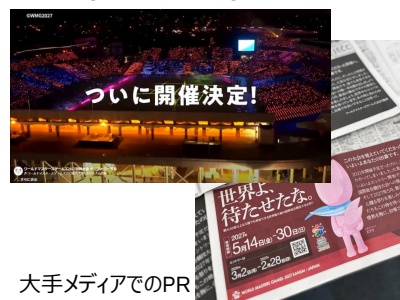


神戸まつりでの
「1年前イベント」

＜周遊促進・魅力発信＞

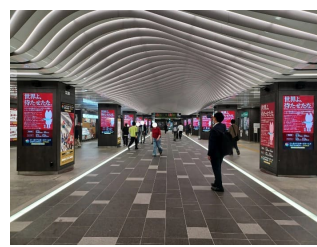
- 大会エントリー者等に対する観光情報の発信
 - 会場市町等と連携した大会期間中における競技会場での観光PR・おもてなし
- ※大会組織委・関西広域連合が行う広域周遊促進の取組とも連携
(交通パス・広域周遊パス発行、モデルルートやデジタル周遊マップの作成等)

（参考）組織委の取組例



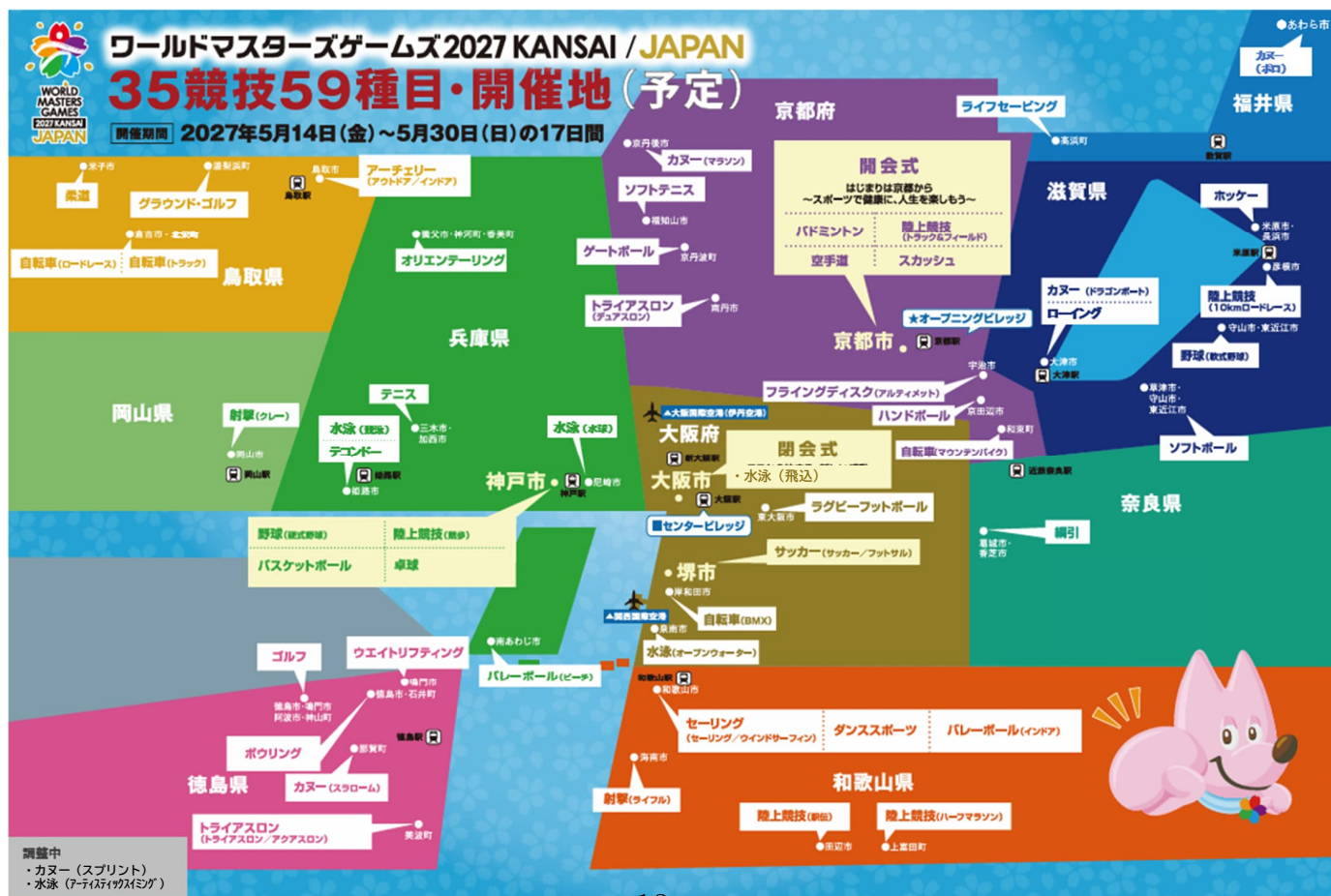
大手メディアでのPR

（参考）神戸市の取組例



市営地下鉄等での広告
(三宮駅広告ジャック)

【参考】開催地・競技一覧（全35競技・59種目）



ユニバーサル推進課

全ての人がその能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会

1 障害者のじぎくスポーツ大会開催事業

5,038千円

障害者スポーツの振興、障害者の社会参加、県民の理解促進を目的として障害者のじぎくスポーツ大会を開催

- ・場所：県立障害者スポーツ交流館、県立三木総合防災公園、三木山総合公園ほか
- ・期間：令和8年5月8日（金）～5月24日（日）
- ・競技：陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク等
- ・出場選手数：1,144名



2 全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業

37,212千円

令和8年10月に青森県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣及び選手の育成

3 パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開

37,509千円

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承し、ワールドマスターズゲームズ2027関西やその先も見据え、パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業、次代を狙うパラアスリートの発掘育成の取組を引き続き実施

4 **拡** ひょうごパラスポーツ振興の充実

15,435千円

ユニバーサルなスポーツ施設検討会からの提言を踏まえ、障害者スポーツ機会の拡大を図るため、障害者が安全・安心に利用できる県内スポーツ施設の環境整備を促進

- ・スポーツ施設職員の障害者対応力向上研修の開催
- ・県内スポーツ施設ユニバーサルデザイン状況見える化支援
- ・民間スポーツ施設ユニバーサルデザイン化支援
(環境改善支援、介助者利用料支援等)
- ・新たなパラスポーツ拠点整備の検討

5 はばタン障害者スポーツ振興事業

2,510千円

障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことができる参加型イベントや県内各地で地元住民により開催されるスポーツイベントの支援等の事業を実施

6 兵庫車いすマラソン等開催事業

1,033千円

障害のある人となない人が車いすマラソンやユニバーサルリレー、パラスポーツ体験

等を通じて、体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を促進

7 障害者スポーツ全県中核拠点施設におけるスポーツ事業の実施	36,459千円
--------------------------------	----------

スポーツを通じて障害者の社会参加を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、県のリハビリテーションセンター内にあるスポーツ交流館において、スポーツ教室の開催や予防的リハビリテーションの普及、指導者の養成等を実施

○県立障害者スポーツ交流館（神戸市西区）：スポーツ大会・研修会等の開催

○ふれあいスポーツ交流館（たつの市）：スポーツ教室・大会・講習会等の開催

8 障害者（児）スポーツ・芸術文化等応援プロジェクト事業	1,000千円
------------------------------	---------

ふるさとひょうご寄附金を活用して障害者スポーツの競技用具を購入することにより、障害者アスリートを支援。また、障害児が新たな経験・体験をする機会を確保するため、障害児入所施設における備品等の購入費や活動経費等を助成

令和8年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

【根拠】スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（令和5年3月22日条例第24号）

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項

(単位：千円)

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助率	R7 補助 金額	R8 補助 金額	増減額	所管課
1	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	公益財団法人兵庫県スポーツ協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とする当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	10/10	79,708	70,812	△8,896	スポーツ 振興課
2	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	競技スポーツ振興事業 第2期兵庫県スポーツ推進計画の基本理念のもと、県内スポーツ団体(プロスポーツ団体等)の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することによって、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。	10/10	194,012	194,906	894	スポーツ 振興課
3	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費補助事業 国民スポーツ大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。 【第80回国民スポーツ大会】 青森県 令和8年10月10日～10月20日 【第81回国民スポーツ大会冬季大会】 山梨県・岐阜県・神奈川県・岩手県・宮崎県 令和9年1月26日～2月21日 ※山梨県：ショートトラック・フィギュア 岐阜県：スピード 神奈川県：アイスホッケー 岩手県：スキー	10/10	49,355	73,637	24,282	スポーツ 振興課

（単位：千円）

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助率	R 7 補助 金額	R 8 補助 金額	増減額	所管課
4	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会加盟競技団体等	<u>スポーツ大会招致事業</u> <u>（「はばタンスポーツ基金」活用事業）</u> 質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。	10/10	6,250	7,000	750	スポーツ 振興課
5	ひょうご女性 スポーツの会	<u>「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助</u> 女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。	10/10	4,000	4,000	0	スポーツ 振興課
6	公益財団法人 兵庫県障害者 スポーツ協会	<u>はばタン障害者スポーツ振興事業</u> <u>（「はばタンスポーツ基金」活用事業）</u> 障害者スポーツに親しむことができる参加型イベントや県内各地で地元住民により開催されるスポーツイベントの支援等の事業を実施する。	10/10	2,510	2,510	0	ユニバーサル 推進課
7	社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団	<u>西播磨総合リハビリテーションセンタースポーツ事業推進費補助</u> 障害者スポーツの振興及びスポーツを通じたリハビリテーションの推進を図るため、西播磨総合リハビリテーションセンター内の「ふれあいスポーツ交流館」において実施するスポーツ事業を支援する。	10/10	36,459	36,459	0	ユニバーサル 推進課
			計	371,294	389,324	17,030	

第2期兵庫県スポーツ推進計画と令和8年度実施計画

基本理念	政策目標	施策目標	指 標	令和7年度 現状値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値	令和13年度 目標値	令和8年度の主要事業
「する・みる・ささえる」スポーツへの参画を通じて、「躍動する兵庫」の実現をめざす。	1 子ども・ユーススポーツの推進	1 運動・スポーツが好きな子どもの創出	総括指標〔再掲〕 運動・スポーツが好きな子どもの増加	86.3%	89.0%	89.8%	93.0%	1 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業(スポーツ振興課)
	総括指標 運動・スポーツが好きな子どもの増加	2 発育・発達段階に対応したスポーツ環境の整備	保護者等と一緒に参加できるスポーツイベントを開催する自治体数の増加	30市町	41市町(全市町)	—	—	2 地域スポーツ活性化支援事業(スポーツ振興課)
		3 ファミリースポーツ等の機会の充実	スポーツや運動を週60分以上実施する児童・生徒の割合の増加	小学校5年生 男子 90.3% 女子 82.6% 中学校2年生 男子 91.1% 女子 78.5%	93.7% 89.7% 95.0% 85.9%	94.1% 90.4% 95.3% 86.9%	95.8% 93.1% 96.7% 90.7%	3 スポーツ大会招致事業(はばタンスポーツ基金)(スポーツ振興課)
			ユース世代(中学生・高校生)を対象に一貫した育成制度を有する競技団体数の増加	35団体	37団体	38団体	41団体	4 乳幼児の運動習慣づくり推進事業(スポーツ振興課)
	2 生涯スポーツの推進	4 誰もが気軽に参画できるスポーツ機会の充実	総括指標〔再掲〕 成人のスポーツ実施率の向上	66.0%	70.0%	70.6%	73.0%	5 プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト(スポーツ振興課)
	総括指標 成人のスポーツ実施率の向上	5 総合型地域スポーツクラブの質的充実	成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上	男性 61.5% 女性 69.0%	72.0% 68.0%	72.4% 68.8%	74.0% 72.0%	6 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト(スポーツ振興課)
		6 行政、スポーツ団体、大学、民間事業者の連携強化	コンソーシアムを組織し、地域スポーツの活性化に取り組む自治体数の増加	28市町	41市町(全市町)	—	—	7 プレミアムスポーツサマー(スポーツ振興課)
	3 競技スポーツの推進	7 次世代アスリートの発掘・育成	過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加	34.0%	35.9%	36.9%	40.9%	8 体育実技指導力向上事業(体育保健課)
	総括指標 国民体育大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	8 アスリートの育成と強化環境の整備	総括指標〔再掲〕 国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	626人	480人	484人	500人	9 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業(体育保健課)
		9 トップアスリートが活躍できる場の支援	国民スポーツ大会で入賞(種別)する競技団体数の増加	21団体	28団体	28団体	28団体	10 スポーツを楽しむ観光コンテンツの展開(観光振興課)
	4 障害者スポーツの推進	10 障害者スポーツの裾野拡大	(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について 指導者数の増加 女性指導者の割合の増加	1,738人 21.6%	1,140人 30.0%	1,152人 30.6%	1,200人 33.0%	11 競技スポーツ振興事業(スポーツ振興課)((公財)兵庫県スポーツ協会)
	総括指標 障害者スポーツの参画人口の拡大	11 障害者スポーツの競技力向上	Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム(就業支援)へ参加する企業数の増加	11社	19社	20社	24社	12 みんなで体力チャレンジぐんぐんキッズ(体育保健課)
		12 障害者スポーツへの理解促進	選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加	16団体	41団体	—	—	13 県立学校部活動指導員配置事業(体育保健課)
	5 スポーツで地域にぎわいを生み出す	13 スポーツで創出するにぎわいと誇り	総括指標〔再掲〕 県内スポーツGDPの増加	293,248百万円	304,000百万円	314,700百万円	357,500百万円	14 中学校部活動指導員配置事業(体育保健課)
	総括指標 県内スポーツGDPの増加	14 地域を支えるスポーツコミッションの構築	スポーツレクリエーション目的観光消費額	4,548億円	4,700億円	5,000億円	5,900億円	15 スポーツ分野におけるローカル5G等ICT活用支援事業(デジタル戦略課)
			過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加	34.0%	35.9%	36.9%	40.9%	16 関西マスターズゲームズin HYOGO 開催事業(スポーツ振興課)
			Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム(就業支援)へ参加する企業数の増加	11社	19社	20社	24社	17 ひょうご女性スポーツの会の活動支援(スポーツ振興課)
								18 県立体育施設の管理運営(スポーツ振興課)
								19 神戸マラソン2026の開催(スポーツ振興課)
								20 ワールドマスターズゲームズ開催準備(スポーツ振興課)
								21 スポーツに関連するボランティア情報等の発信(県民躍動課)
								22 シニアニューススポーツ普及支援事業(県民躍動課)
								23 全国健康福祉祭(ねりんピック)予選会の開催(高齢政策課)
								24 全国健康福祉祭派遣事業(高齢政策課)
								25 老人クラブによる健康づくり・介護予防支援事業(高齢政策課)
								26 「健康体操」普及促進事業(健康増進課)
								27 阪神南ふれあいスポーツフェスタ2026(阪神南県民センター)
								28 サイクリングアイランド淡路島の推進(淡路県民局)
								29 (公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成事業((公財)兵庫県スポーツ協会)
								30 マリンスポーツを活用した阪神臨海部活性化事業(阪神南県民センター)
								31 Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム((公財)兵庫県スポーツ協会)
								32 障害者のじぎくスポーツ大会開催事業(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								33 全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								34 パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								35 ひょうごパラスポーツ振興の充実(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								36 はばタン障害者スポーツ振興事業(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								37 兵庫車いすマラソン等開催事業(ユニバーサル推進課・(公財)兵庫県障害者スポーツ協会)
								38 障害者スポーツ全県中核拠点施設におけるスポーツ事業の充実(ユニバーサル推進課)
								39 障害者(児)スポーツ・芸術文化等応援プロジェクト事業(ユニバーサル推進課)
								40 ひょうごスポーツコミッションの創設(スポーツ振興課)
								41 HYOGO STAR PROJECT(スポーツ振興課)
								42 キャリア形成セミナー(スポーツ振興課)
								43 兵庫ゆかりのアスリート等指導者派遣プロジェクト(スポーツ振興課)
								44 プロクラブ等と連携した選手等との交流ツアー(スポーツ振興課)
								45 神戸空港国際化を契機としたインバウンド誘客強化事業(観光振興課)
								46 HYOGO ATHLETE PARTNERS 制度(スポーツ振興課)

【総括指標】・県内スポーツGDPの増加

01

【関連指標】

・スポーツレクリエーション目的
観光消費額

スポーツで地域ににぎわいを生み出す

02

【関連指標】

・過去1年間のスポーツの
観戦者の割合の増加

03

【関連指標】

・Team HYOGO アスリート
キャリアフォーラム（就業支援）
へ参加する企業数の増加

【推進基盤】

ひょうごスポーツコミッション

1 スポーツの裾野拡大

3 スポーツツーリズムの推進・大会誘致

2 人材育成・キャリア支援

4 地域・企業共創、デジタル展開

施策目標13

スポーツで創出するにぎわいと誇り

令和8年度 主要事業

- 1 プロクラブ等と連携した選手等との交流ツアー（P15）
- 2 ワールドマスタースゲームズ2027関西 開催準備（P12）
- 3 神戸空港国際化を契機としたインバウンド誘客強化事業（観光振興課）
- 4 プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト（P10）

施策目標14

地域を支えるスポーツコミッションの構築

令和8年度 主要事業

- 1 ひょうごスポーツコミッションの創設【R8新規】（P14）
- 2 HYOGO STAR PROJECT（P14）
- 3 キャリア形成セミナー・企業マッチング会（P14）
- 4 プロスポーツクラブ・トップアスリート等と連携した指導者派遣プロジェクト（P15）
- 5 HYOGO ATHLETE PARTNERS制度
- 6 プレミアムスポーツサマー【R8新規】（P9、P14）
- 7 プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト（P10）
- 8 プロクラブ等と連携した選手等との交流ツアー（P15）

審議の視点

- ・既存事業の評価や改良点
- ・KPI向上に繋がる新たな事業のアイデア
- ・地域を巻き込むための方策や事業展開

○兵庫県スポーツ推進審議会規則

令和5年3月31日規則第10号

兵庫県スポーツ推進審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和37年兵庫県条例第21号）第5条の規定に基づき、同条例に定めるもののほか、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) その他知事が必要と認めた者

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 審議会に、会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。